

NOMA行政管理講座開催(ご案内)

地方自治体・地方公営企業・地方公社等職員向け共通
初心者のための複式簿記入門

<令和7年5月15日(木)・16日(金)><令和7年8月4日(月)・5日(火)>

拝啓時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の事業活動には、平素より格別なご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、地方分権の推進とともに、的確な財務状況の把握がますます重要となっていますが、企業会計方式を採用する会計では、一般行政部局からの異動等、その経理事務に初めて従事される方にとってはたいへんな戸惑いを伴うものとなります。その中心となるのが『複式簿記』のしくみです。この『複式簿記』の基本的知識があつてはじめて、各根拠法令、経理基準等に基づく事務精通への道が開けるといっても過言ではありません。また、総務省から出された通知によって複式簿記が導入されています。

そこで、『複式簿記』の基礎を中田義直氏からわかりやすく解説いただき、演習問題を実際に解くことによって、実務に役立つ知識をしっかりと身に付けていただきたく、標記講座を開催いたします。また、本講座では、公会計改革の骨組みについても触れ、講座で学んだ複式簿記の知識がすべての会計の基本となっていることを確認いたします。

この機会に多数の方々のご参加をお待ち申し上げております。

敬 具

記

日 時：5月開催 令和7年5月15日(木) 13:00～17:00
5月16日(金) 9:30～16:30
8月開催 令和7年8月4日(月) 13:00～17:00
8月5日(火) 9:30～16:30

講 師：税理士、CFP® 中田 義直氏

参加方法：[会場参加] 日本経営協会内専用教室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11
住友不動産新宿南口ビル 13階)
[オンライン参加] ZoomによるLive 配信

参加料：会員(1名) 36,300円(税込)
(負担金) 一般(1名) 39,600円(税込)

申込方法：本会ホームページから講座名を検索していただき、お申込みください。

- ※令和6年度より、FAXでのお申込みは廃止いたしました。
- ・講座開催日の約1か月前より順次、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
- ・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。
- ・お申込みは5営業日前までお願いいたします。
- ・定員になり次第締め切らせていただきます。受付状況は、本会ホームページからご確認ください。

キャンセル：お申込み後、キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。

会場参加の場合、開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は100%をキャンセル料として申し受けます。オンライン参加の場合は、開催日の5営業日前～当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。

その他：参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

○オンライン参加での留意事項

- ・オンライン参加の場合、セミナー実施3営業日前を目途に、ZOOM ID等をメールにてお知らせいたします。
- ・お申込みをいただいた参加者のみご受講をお願いします。お申込みをいただいていない方の配信閲覧は堅くお断りいたします。

お申込み
お問合せ先



一般社団法人 日本経営協会

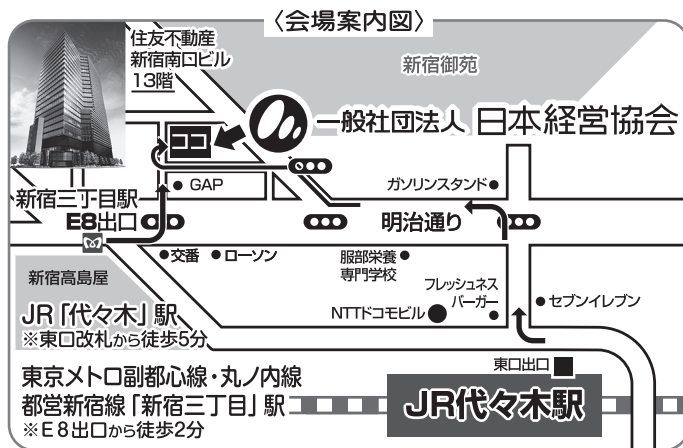
(お問合せは平日の月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いいたします)

本部事務局 企画研修グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-31-11

TEL (03) 6632-7139

E-mail: tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp



▶プログラム◀

I. 地方公共団体における複式簿記の必要性について……

- Q1 県や市町村も複式簿記にしなければならないといわれています。どういふことが教えてください。
- ◆ 総務省から出された通知によって、複式簿記が導入されています。
- Q2 複式簿記導入といわれても何をしたらいいかわかりません。
- ◆ まずは複式簿記とは何かから学習しましょう。概要がわかると何をやるのかが見えてきます。

II. 複式簿記のアウトラインをイメージする……

- Q1 複式簿記とはどういうものなのですか？
- ◆ 日々の事務から決算まで、簿記の手続きには順番があります。順番がわかると簿記全体がイメージできます。
- こんな用語がわかるようになります。
- 取引→仕訳→元帳→試算表→精算表→貸借対照表・損益計算書
- Q2 複式簿記の難しい用語が全くわかりません。どうしたらいいでしょう。
- ◆ “これだけは知っておきたい”基礎知識、この機会にマスターしましょう。
- こんな用語がわかるようになります。
- 資産・負債・資本収益・費用借方と貸方仕訳等
- Q3 私たちにもできるのでしょうか？
- ◆ 簿記の手続きを、順番に皆さんでやってみましょう。必ずできるようになります。

演習

III. 決算整理のあらましを体験する……

- Q1 使用料を何年も払ってくれないのですずっと未収入金になっているんだけどこのままでいいのかな？
- ◆ 学習内容：貸倒引当金の設定、取崩
- 設例解説
- Q2 “ゲンカショウキャク”って何？ 原価？ 焼却？
- ◆ 学習内容：減価償却、固定資産、等
- 設例解説
- Q3 係長っ、3月末で決算締めといっても、保険料、9月分までもう払ってありますよ。どうするんですか？
- ◆ 学習内容：経過勘定、発生主義、等
- 設例解説
- Q4 私たちの退職金、ちゃんと考えてくれているかなあ。
- ◆ 学習内容：引当金、等
- 設例解説

IV. 貸借対照表と損益計算書を作成してみる……

- ◆ 学習内容：精算表作成演習による財務諸表の理解、等

演習

持ち物

電卓

講師紹介

中田 義直氏

中田義直税理士事務所 所長
S54.明治大学商学部商学科卒業
S54.関東信越国税局採用

その後、税務大学校教授(簿記、法人税、消費税等担当)、税務大学校研修所長、税務署長等を歴任し退官、税理士事務所を開業し、現在に至る

※教材として、書籍をお渡し予定です。

※最新の情報を反映するため、予告なく内容の一部を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※令和6年度より、FAXでのお申込は廃止いたしました。
下記URLよりお申込みください。

<https://www.noma.or.jp/seminar/tabid/138/Default.aspx>

NOMA 講座

検索

NOMA
NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION